



大日ヶ岳 1708.9m スキー登山 2017年3月19日(日)

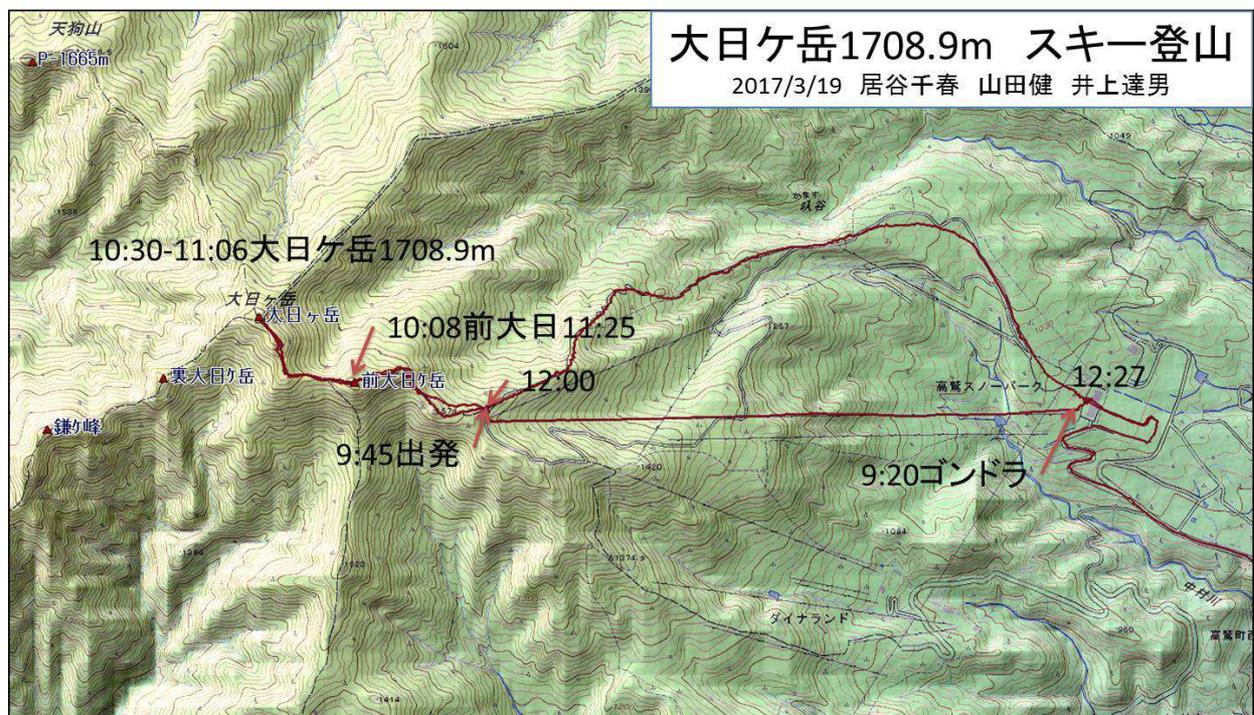
体調が回復しつつある居谷さんが試しの登山を所望し、山田さんと HaksanView にやってきた。どの山に登るか、前夜に議論した結果、病み上がりに無理は禁物とゴンドラを使える大日ヶ岳 1708.9m に決定した。

予報では良く晴れるようなことを言っていたが、靄と雲の多い天気だった。高鷲スノーパークのゴンドラに乗るころは汗ばむほどの温かさで、山田さんは下着に雨具という姿だった。

連休とあって頂上に向かうパーティが多数、山頂では二、三十人ほどの賑わいだった。白山は靄の中で見えず、銚子ヶ峰 1810.4m が見える一番遠くのピークだった。

居谷さんは幅の狭いスキーにジルベレッタの金具、スキー靴で調子が悪く、頂上手前のピークでビンディングが外れてスキーデポ。後ほど井上が調整して滑降できるようになった。下りでは山田さんと二人で前大日まで戻って居谷さんを待っていると、彼が谷の方に下っていく不可解な行動に出たので山田さんが心配して見に行った。居谷さんは登りで落としたお茶のペットボトルを回収に下ったのだった。前大日からはめいめい勝手にスキー場まで下った。雪は腐りかけていて多数の登山者が踏み乱した斜面を滑降するのは難儀だった。

いったん車まで下って昼食を駐車場で済ませ、グレンデ用のスキーに履き替えて午後はグレンデでの滑降を楽しんだ。午後4時ごろ、駐車場で分かれて二人は関西へ戻っていった。





HaksanView の東屋にて



登り途中の前大日の頂上にて



大日ケ岳 1708.9m 頂上の居谷千春



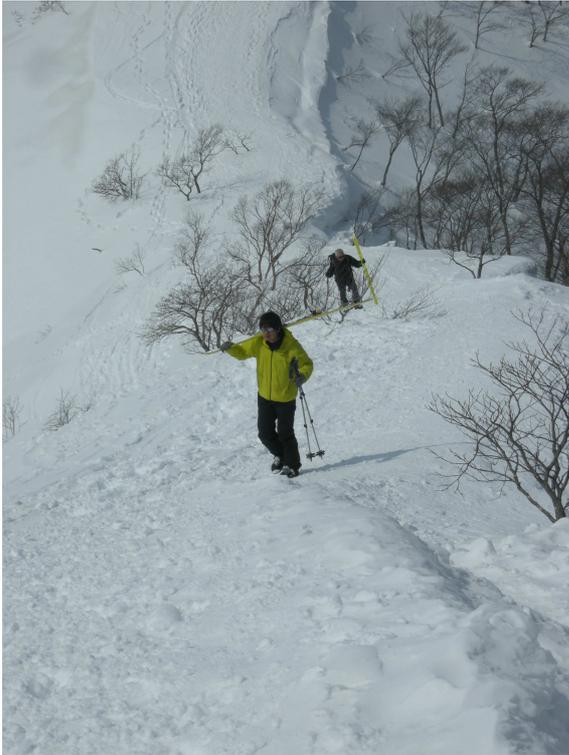
山頂 バックに鎌ヶ峰
山田健・居谷千春・井上達男



滑降する居谷さん(右中ほど)



前大日から本峰(右端)



居谷さんのスキーを担いで手助けの山田さん
前大日の登りで